

# サイクリング・タウン構想

## サイクリング・タウン推進協議会

人口減少社会と地域格差の拡大が懸念される中、地方・地域の活力を引き出すためには交流人口の拡大を目指す必要があります。そこで私たちは、その活力を引き出す方法のひとつとしてサイクリングの”効果”に着目いたしました。

ご承知のように、サイクリングは経済的で環境に優しいスポーツであり、楽しみながら健康の増進を図れるという特長があります。また、老若男女はもちろん障害の有無を問わず参加できるなど、世界の共通語であると私たちは考えます。

そのサイクリングを通じて地方・地域の活力作りに取り組むためには、まず拠点作りを急がねばなりません。そして、その条件を備えた場所として、安全で安心してのびのび走れることに加え、様々なコース取りが可能な地域を探す必要があります。

秋田市河辺地区はかつて『せせらぎの町』、雄和地区は同じく『輝く緑と水の里』を称し、

その自然の豊かさと安全で安心して暮らせる町をアピールしてまいりました。両地区には、地方の良さを「来て、見て、感じて、味わってもらう」ための要素がたくさんあります。

そこで私たちは『河辺・雄和地区』に自転車の街—すなわち “サイクリング・タウン” を建設することを提案します。この構想は、単に自転車愛好者だけのものではなく、住民の皆様との交流を通して『自然と人のぬくもり』という地域資源の価値向上に努め、地域に住む者が自信と誇りを取り戻すことも共に目指します。

それには、自転車愛好者の皆様と地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。自転車は今後も環境に優しい乗り物として改良が施され、人々の足としてさらに発達することは間違いありません。当然、そこには様々な波及効果も期待されます。

ぜひこの**サイクリング・タウン構想**に皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 【具体的目標】

- ・サイクリング・ロード整備、改修(雄物川、岩見川堤防全線) ・車道、歩道、自転車道別のカラーリング
- ・メンテナンス及びレンタルの対応強化と安全走行の普及 ・バス、JR、タクシー等移動、輸送手段の対応研究
- ・二人乗り自転車(タンデム車)の公道通行モデル地域 ・通過型から1泊2日以上滞留型サイクリングの奨励
- ・サイクリング大会、イベント等の交流を通じて地元農産物及び加工品等の販路拡大及び地域情報発信
- ・国際教養大学をはじめ小、中学校等の教育機関との交流等 ・その他